

# 脳卒中の症状

脳卒中は脳の血管が詰まったり、

破れたりして起こる病気です（図1）。脳梗塞は脳の血管が急に

詰まって起こります（脳卒中全体の約80%を占めます）。脳出血は脳の中の方を走っている小さな血管が破れて起こります（約15%）。くも膜下出血は脳の大きな血管にできた瘤が破裂して起こります（約5%）。脳卒中になったら、すぐに救急車を呼んで専門病院に運んでもらうことが大切です。

図1 脳卒中の種類

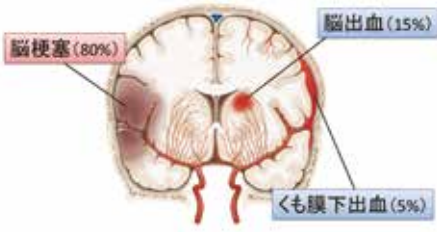


図2 脳卒中の症状



顔がゆがむ 腕に力が入らない  
「ベッドサイドの神経の診かた」 南山堂

## 脳卒中の症状・サインは？

① 半身に力が入らない、しびれる（図2）

最も多い症状で、右の手足に力が入らない、あるいはしびれるなど、片側に症状が起こるのが特徴です。小さな脳卒中では片側の手だけ、あるいは足だけに症状が限られることもあるので注意してください。

顔面も片側だけ麻痺することがあり、口角が下がって、顔がゆがんでみえます。

② 呂律が回らない、全くしゃべれない

次に多いのが言語障害です。顔面に麻痺が起こると呂律が回らなくなり、パピペポなどが言いにくくなります（構音障害と言います）。また、全く言葉がしゃべれなくなり、ただ「うーうー」唸るだけという症状もあります。これは失語といって、言語中枢が障害されたときの症状です。

③ 激しい頭痛

脳出血やくも膜下出血では激しい頭痛が突然起こり、しばしば嘔吐を伴います。くも膜下出血は、これまで経験したことがないような頭痛が起こり、あつという間に

意識がなくなったりします。

④ 意識が悪くなる

脳卒中が大きい場合や、脳幹という場所に起こった場合には意識が悪くなることがあります。呼びかけてもすぐに眠ってしまう、眼は開けているのに視線が合わず何となくボーっとしているなどは意識が悪くなっているときの症状です。

⑤ 視野が欠ける、両眼で見たとときに物がだぶる

視野の右半分（あるいは左半分）が見えなくなったら、脳卒中かもしれません（半盲と言います）。脳ではありませんが、右眼だけ（あるいは左眼だけ）が見えなくなつたというときは眼の血管が詰まったときで、これもすぐに病院を受診する必要があります。急に物がだぶつて見えるようになったら脳卒中

かもしれません。眼の病気の時もありますが、脳卒中は片眼では大丈夫なのに、両眼で見るとだぶつて見えます。

⑥ 力はあるのに立てない、ふらつく

小脳の脳卒中では平衡感覚が悪くなって、ふわふわする、力はあるのに立てない、まっすぐ歩けないなどの症状が出ます。嘔吐を伴うこともあります。耳の病気のこともあるのですが、急に症状が出現したときは脳卒中を疑ってください。

脳卒中の症状は様々ですが、急に起こることが特徴です。「脳卒中かな」と思ったら、すぐに救急車を呼んで下さい。結果的に脳卒中でなかつたとしても、何ら問題はありません。治療が遅れることが問題です。



社会医療法人 製鉄記念八幡病院  
脳卒中・神経センター長  
脳神経内科部長  
**荒川 修治先生**

日本内科学会総合内科専門医・指導医 / 日本神経学会神経内科専門医・指導医 / 日本脳卒中学会脳卒中専門医 / 日本認知症学会専門医など



製鉄記念八幡病院  
八幡東区春の町1丁目1-1  
TEL 093-672-3176

CHECK! 荒川先生の「脳卒中の症状」解説動画